

鎌倉時代2 (御恩と奉公・執権政治)

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

将軍と主従関係（しゅじゅうかんけい）を結んだ武士を御家人（ごけにん）といいます。将軍と御家人は土地を通じて強く結びついており、この結びつきが鎌倉幕府の政治の土台となりました。

- ① 将軍が御家人の領地を守り、手がらに応じて新しい領地をあたえることを何とといいますか。 ()
- ② 御家人が、戦いのときに命がけて戦い、ふだんは京都や鎌倉の警備（けいび）を行うことを何とといいますか。 ()
- ③ ①と②によって結ばれた社会のしくみを何とといいますか。 ()
- ④ 幕府の中央に置かれた、次の仕事を行う役所の名前をそれぞれ答えなさい。
ア．御家人をまとめる イ．財政 ウ．裁判
ア () イ () ウ ()
- ⑤ 御家人が命がけて戦ったのはなぜですか。「領地」の言葉を使って書きなさい。
()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

源頼朝が亡くなると、その妻の一族である〔X〕氏が力をのばし、将軍を助ける〔Y〕という役職について政治を動かしました。源氏の将軍は3代で絶え、この一族が長く政治の実権をにぎりしました。

- ① 〔X〕にあてはまる一族の名を答えなさい。 ()
- ② 〔Y〕にあてはまる役職名を答えなさい。 ()
- ③ ②の役職を中心に行われた政治を何とといいますか。 ()
- ④ 〔X〕氏で、最初に②の役職についた人物はだれですか。 ()
- ⑤ 源頼朝の妻で、将軍にかわって政治を行った人物の名前と、そのよび名を答えなさい。
人物 () よび名 ()

解答

- 1
- ① 御恩(ごおん)
 - ② 奉公(ほうこう)
 - ③ 封建制度(ほうけんせいど) (封建社会)
 - ④ ア 侍所(さむらいどころ) イ 政所(まんどころ) ウ 問注所(もんちゅうじょ)
 - ⑤ 先祖からの領地を守り、新しい領地をもらうため。

- 2
- ① 北条(ほうじょう)
 - ② 執権(しっけん)
 - ③ 執権政治(しっけんせいじ)
 - ④ 北条時政(ほうじょうときまさ)
 - ⑤ 人物 北条政子(ほうじょうまさこ) よび名 尼将軍(あましょうぐん)